

健康をつなぐ

# 健康・医療



詳しくはこちら



自分らしさと誇りをつなぐ

# 共生社会・コミュニティ



詳しくはこちら



健康でいきいき

暮らしているまち

## 救急医療体制を堅持

救急医療機関の医師や看護師など医療従事者の確保を支援し、3月6日24時間の救急医療体制を堅持しています。また、毎日夜間に小児急病者の応急診療を行う「松山市急患医療センター」を運営し、安心して子育てができる環境を充実させています。



夜間の急病に対応する松山市急患医療センター

## 健康づくりを後押し

健康づくりの取り組みに対してインセンティブを提供し、市民自らが主体的に健康づくりを続けるきっかけとなるよう、「健康マイレージ事業」

大好きな松山で、

自分らしくいられるように

## まちづくり協議会

「私たちのまちは私たちの手で」を基本理念に、地域住民や団体が連携してネットワーク型の住民自治組織「まちづくり協議会」を組織しています。33地区（令和6年12月末現在）で設立され、地域の団体と連携しながら、地域の課題解決や地域特性を生かしたまちづくりを進めています。地域がまちづくりを主体的に取り組むのを支援し、一定の権限や責任と財源を徐々に地域へ移譲していきます。



まちづくり協議会が実施するイベント（桑原地区）

## 人と動物の共存

を令和2年度から実施しています。また、ウォーキングを気軽に始められるきっかけとなるよう、各地区の各所・旧跡を歩いて巡るイベント「スマイルウォーキング」を実施しています。今後もこうした市民の健康づくりを支援する取り組みを積極的に実施し、健康寿命の延伸を目指します。

動物愛護の拠点として、令和6年3月21日に総合公園内に動物愛護センター「はびまるの丘」をオープンしました。はびまるの丘では、迷い犬や負傷した動物を一時的に收容し、飼い主へ返したり、里親へ譲渡したりしながら、公園を訪れる多くの人に動物愛護について啓発し、「人と動物が共に安心して暮らせるまち松山」を目指しています。



動物愛護センター「はびまるの丘」

## 地域振興構想

はじめ、地域固有の資源が数多くあります。こうした地域資源が点在するまち全体を「屋根のない博物館」に見立て、回遊性の高い物語のあるまちを目指し、行政と市民が一体となって魅力を磨き上げるなど、松山らしさを生かしたまちづくりを進めています。

松山市では、地域固有の資源を生かしたまちづくりをさらに進めたいため、地域振興に関する新たなビジョンを策定しました。このビジョンでは、基本理念として、「たからみがき」のまちづくり、く人のつながりで未来をつむぐ」を掲げ、行政と地域が一緒になって魅力を高め特色のある地域づくりを進めます。

## 移住者・若者への定着支援

移住者交流会を定期的に開催し、生活の不安を解消するほか、子育て世帯が住宅を取得する際に補助するなど、移住された人への支援を行っています。

また、地元の学生が参加するプロジェクトチーム「マツワカ」では、地元企業と連携した商品開発や松山の良さをSNSで発信することで、地元「魅力」や「暮らしやすさ」に気付いてもらい、シビックプライドを醸成しています。今後も、移住者への支援や若者の愛着を育むことで、定着と将来的なUターンにつなげていきます。

## 『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想

市内には、小説『坂の上の雲』ゆかりの史跡を